

全国理美容開業ランキング レポート ver8

～2026年1月～3月・過去3年間比較～

<調査方法>

行政からの開業情報をもとに、
Review独自のクレンジングをおこなったデータより算出

株式会社Reviewは「人」と「IT」のチカラを組み合わせ、全国の店舗データおよび法人データを独自で、収集・整備・提供しているデータプロバイダーです。

日々データを更新、圧倒的な網羅性とリアルタイム性がございます。
そんな弊社ならではの、全国の理美容店に関する調査結果を発表いたします。

理容所・美容所開業ランキング 2026年1月～3月

全国理美容開業数ランキングTOP5	・・・P4
全国理美容開業数ランキング(合計)	・・・P5
【理容所】月別 全国理美容開業数ランキング	・・・P6
【美容所】月別 全国理美容開業数ランキング	・・・P7
月を追うごとに増加した開業数	・・・P8

理容所・美容所 2024年～2026年 1月～3月 過去3年開業数比較

全国理美容開業数ランキング/2024年～2026年	・・・P10
【理・美容所別】全国理美容開業数ランキング/2024年～2026年	・・・P11
2025年の落ち込みから回復 開業数は3年間で最多に	・・・P12～13
2026年1～3月の開業回復を読む	・・・P14～15
【コラム】いま男性がバーバーに通う理由	・・・P16～17

全国理美容開業ランキング レポート ver8 まとめ

開業数は前年比約50%増 業界に見られた回復の動き	・・・P19
顧客に選ばれる店づくりと働き方	・・・P20

理容所・美容所開業ランキング 2026年1月～3月



全国理美容開業数ランキングTOP5



開業数の回復から見てきた、2026年理美容市場の現在地とは—

2026年1月～3月の理美容所開業数は前年同期から大きく増加し、回復の動きが見られています。一方で、2024年同期との比較では微増に留まっており、今回の大幅な伸びには、前年の落ち込みからの回復という側面もうかがえます。

本レポートでは、2026年1月～3月の全国開業データを中心に、過去3年間の同時期のデータとも比較しながら、地域別・業態別の動向を整理し、理美容業界の現在地と、これからの開業市場の変化を読み解きます。

まずは、2026年1月～3月の全国理美容店開業数ランキングを発表いたします。
開業数合計トップ5には、以下の都道府県がランクインしています。



1位 東京都(248件)

都心部から住宅エリアまで幅広い商圏を持ち、多様な顧客ニーズに対応したサロンが集積。



2位 大阪府(182件)

大阪市内の繁華街や駅周辺を中心に美容サロンが集積する一方、住宅地にも幅広い美容需要が存在。



3位 愛知県(117件)

名古屋市を中心とした都市部に加え、郊外にも商圏が広がるのが特徴。地域密着型から専門性の高い店舗まで多様。



4位 福岡県(110件)

福岡市を中心に若年層を含む幅広い美容需要が集中。トレンドや専門性を意識した店舗など多様なコンセプトでの開業が進む。



5位 神奈川県(100件)

横浜・川崎などの都市部に加え、県内に複数の住宅商圏を抱える。都市型から地域密着型まで顧客層に応じた幅広いサロンが開業。

全国理美容開業数ランキング(合計)

2026年1月～3月の全国の理美容開業数ランキングは以下のような結果となりました。

2026年1月～3月 全国開業件数 1,883件

理美容 / 2026年1月～3月					
都道府県		開業数			
全国		1883	24	愛媛県	24
1	東京都	248	25	滋賀県	22
2	大阪府	182	26	茨城県	21
3	愛知県	117	27	奈良県	21
4	福岡県	110	28	香川県	20
5	神奈川県	100	29	大分県	20
6	兵庫県	76	30	宮崎県	20
7	埼玉県	74	31	石川県	19
8	北海道	70	32	佐賀県	19
9	千葉県	54	33	長崎県	19
10	静岡県	52	34	熊本県	18
11	京都府	45	35	和歌山県	17
12	広島県	40	36	富山県	16
13	三重県	38	37	徳島県	16
14	岐阜県	36	38	山梨県	15
15	岡山県	34	39	鹿児島県	15
16	宮城県	32	40	島根県	13
17	新潟県	31	41	山形県	11
18	沖縄県	29	42	高知県	11
19	群馬県	27	43	岩手県	10
20	長野県	27	44	秋田県	10
21	福島県	26	45	青森県	9
22	栃木県	26	46	福井県	9
23	山口県	25	47	鳥取県	9

【理容所】月別 全国理美容開業数ランキング

次に、理容所における2026年1月～3月の、月別の全国開業数を比較してみます。
結果は以下の通りです。

理容所 全国開業件数 193件

		理容所 / 2026年1月～3月			
	都道府県	3か月合計	2026年1月	2026年2月	2026年3月
	全国	193	51	55	87
1	東京都	27	7	8	12
2	大阪府	15	6	4	5
3	北海道	14	5	4	5
4	福岡県	13	5	2	6
5	兵庫県	11	1	4	6
6	神奈川県	10	2	3	5
7	愛知県	10	4	3	3
8	静岡県	5	1	3	1
9	広島県	5	1	2	2
10	熊本県	5	1	2	2
11	沖縄県	5	2	1	2
12	埼玉県	4	0	1	3
13	石川県	4	1	1	2
14	京都府	4	0	1	3
15	奈良県	4	1	1	2
16	岩手県	3	1	0	2
17	山形県	3	0	2	1
18	栃木県	3	0	1	2
19	群馬県	3	2	1	0
20	千葉県	3	1	1	1
21	新潟県	3	0	2	1
22	富山県	3	1	0	2
23	三重県	3	2	0	1
24	和歌山県	3	0	0	3
25	愛媛県	3	1	1	1
26	鹿児島県	3	1	2	0
27	宮城県	2	0	1	1
28	秋田県	2	2	0	0
29	福島県	2	1	1	0
30	岡山県	2	0	1	1
31	山口県	2	0	0	2
32	香川県	2	0	0	2
33	佐賀県	2	0	1	1
34	大分県	2	0	0	2
35	福井県	1	0	0	1
36	山梨県	1	0	0	1
37	長野県	1	1	0	0
38	岐阜県	1	0	0	1
39	島根県	1	0	1	0
40	徳島県	1	0	0	1
41	高知県	1	0	0	1
42	宮崎県	1	1	0	0
43	青森県	0	0	0	0
44	茨城県	0	0	0	0
45	滋賀県	0	0	0	0
46	鳥取県	0	0	0	0
47	長崎県	0	0	0	0

【美容所】月別 全国理美容開業数ランキング

さらに、美容所における2026年1月～3月の、月別の全国開業数を比較してみます。
結果は以下の通りです。

美容所 全国開業件数

1,690件

美容所 / 2026年1月～3月					
	都道府県	3か月合計	2026年1月	2026年2月	2026年3月
	全国	1690	472	595	623
1	東京都	221	62	74	85
2	大阪府	167	41	56	70
3	愛知県	107	28	35	44
4	福岡県	97	28	43	26
5	神奈川県	90	26	30	34
6	埼玉県	70	24	29	17
7	兵庫県	65	21	16	28
8	北海道	56	20	13	23
9	千葉県	51	13	21	17
10	静岡県	47	16	18	13
11	京都府	41	7	14	20
12	岐阜県	35	5	11	19
13	三重県	35	4	17	14
14	広島県	35	10	9	16
15	岡山県	32	12	12	8
16	宮城県	30	7	12	11
17	新潟県	28	10	4	14
18	長野県	26	7	8	11
19	福島県	24	7	10	7
20	群馬県	24	5	10	9
21	沖縄県	24	4	11	9
22	栃木県	23	8	5	10
23	山口県	23	3	14	6
24	滋賀県	22	10	2	10
25	茨城県	21	10	4	7
26	愛媛県	21	10	6	5
27	長崎県	19	8	6	5
28	宮崎県	19	4	11	4
29	香川県	18	8	5	5
30	大分県	18	2	10	6
31	奈良県	17	7	5	5
32	佐賀県	17	4	5	8
33	石川県	15	4	7	4
34	徳島県	15	3	6	6
35	山梨県	14	4	6	4
36	和歌山県	14	4	3	7
37	富山県	13	4	5	4
38	熊本県	13	2	6	5
39	島根県	12	1	6	5
40	鹿児島県	12	2	8	2
41	高知県	10	4	4	2
42	青森県	9	0	4	5
43	鳥取県	9	6	0	3
44	秋田県	8	2	5	1
45	山形県	8	2	2	4
46	福井県	8	2	4	2
47	岩手県	7	1	3	3

月を追うごとに増加した開業数

2026年1～3月の全国の理美容所開業数は1,883件となりました。月別では1月から3月にかけて開業数が増加しており、内訳を見ると美容所が全体の約9割を占めています。また、都道府県別では東京都や大阪府をはじめとする上位地域の占める割合が大きく、地域ごとの月別推移には違いも見られました。ここでは、2026年1～3月の開業動向を4つのポイントから見ていきます。

1. 1月から3月にかけて開業数は増加傾向

2026年1～3月の理美容所の開業数は、全国で合計1,883件、月別では1月が523件、2月が650件、3月が710件となっており、3カ月間では3月が最も多い結果となっています。

1月と3月を比較すると187件増加しており、2026年の第1四半期は月を追うごとに開業数が増える動きが見られました。

2. 新規開業の約9割を美容所が占める

2026年1～3月の開業数を業態別に見ると、美容所が1,690件、理容所が193件となりました。全体に占める割合は美容所が約89.8%、理容所が約10.2%となっています。

件数ベースでは美容所が大半を占めており、2026年1～3月の理美容所の新規開業は、美容所を中心とした構成が続いていることがうかがえます。

3. 上位5都府県で全国の約4割を占める

都道府県別の開業数では、東京都が248件で最も多く、次いで大阪府182件、愛知県117件、福岡県110件、神奈川県100件となりました。

上位5都府県の合計は757件で、全国1,883件の約40.2%を占めています。全国各地で開業が見られる一方、開業件数の多い上位地域が全体の一定割合を占める状況となっています。

4. 上位地域でも月別の動きには違い

上位5都府県の月別推移を見ると、東京都は69件から82件、97件、大阪府は47件から60件、75件と、1月から3月にかけて増加しています。愛知県、神奈川県についても同様に3月の開業数が1月を上回りました。

一方、福岡県は1月33件、2月45件、3月32件となっており、2月をピークに推移しています。全国では1月から3月にかけて増加する動きが見られるものの、個別の地域を見ると月ごとの開業状況には違いがあることがうかがえます。

理容所・美容所
2024年～2026年 1月～3月
過去3年 年間開業数比較

全国理美容開業数ランキング/2024年～2026年

次に、2024年～2026年の3年間における、1月～3月の全国の理美容開業数を比較してみました。
以下のような結果となりました。

理美容 / 1月～3月開業数					
	都道府県	3年間合計	2024年	2025年	2026年
	全国	4953	1816	1254	1883
1	東京都	644	225	171	248
2	大阪府	476	164	130	182
3	愛知県	334	127	90	117
4	神奈川県	273	98	75	100
5	福岡県	268	94	64	110
6	兵庫県	233	88	69	76
7	埼玉県	217	76	67	74
8	北海道	179	64	45	70
9	千葉県	162	59	49	54
10	静岡県	141	53	36	52
11	京都府	108	35	28	45
12	広島県	104	36	28	40
13	長野県	103	45	31	27
14	宮城県	92	35	25	32
15	岡山県	88	39	15	34
16	岐阜県	82	24	22	36
17	沖縄県	81	30	22	29
18	茨城県	80	38	21	21
19	三重県	75	25	12	38
20	群馬県	73	34	12	27
21	新潟県	71	25	15	31
22	栃木県	70	29	15	26
23	愛媛県	63	21	18	24
24	滋賀県	62	27	13	22
25	鹿児島県	57	28	14	15
26	山口県	55	24	6	25
27	福島県	52	11	15	26
28	奈良県	48	22	5	21
29	大分県	47	20	7	20
30	宮崎県	44	16	8	20
31	富山県	41	17	8	16
32	徳島県	41	11	14	16
33	佐賀県	40	15	6	19
34	熊本県	40	16	6	18
35	石川県	38	7	12	19
36	香川県	37	11	6	20
37	高知県	37	15	11	11
38	和歌山県	35	14	4	17
39	青森県	34	17	8	9
40	長崎県	34	9	6	19
41	山形県	32	10	11	11
42	山梨県	30	10	5	15
43	福井県	28	15	4	9
44	鳥取県	28	12	7	9
45	秋田県	26	10	6	10
46	岩手県	25	11	4	10
47	島根県	25	4	8	13

【注釈】前回レポートから更新された情報もあります

※3年間の開業数合計が多い都道府県順に表示しております。

【理・美容所別】全国理美容開業数ランキング/2024年～2026年

次に、2024年～2026年の3年間における、1月～3月の全国の理容所・美容所別の開業数を比較してみました。以下のような結果となりました。

理容所 / 1月～3月開業数						美容所 / 1月～3月開業数					
	都道府県	3年間合計	2024年	2025年	2026年		都道府県	3年間合計	2024年	2025年	2026年
	全国	461	149	119	193		全国	4492	1667	1135	1690
1	東京都	56	14	15	27	1	東京都	588	211	156	221
2	大阪府	41	12	14	15	2	大阪府	435	152	116	167
3	北海道	34	12	8	14	3	愛知県	319	124	88	107
4	兵庫県	25	7	7	11	4	神奈川県	256	94	72	90
5	埼玉県	22	9	9	4	5	福岡県	246	91	58	97
6	福岡県	22	3	6	13	6	兵庫県	208	81	62	65
7	神奈川県	17	4	3	10	7	埼玉県	195	67	58	70
8	愛知県	15	3	2	10	8	千葉県	150	52	47	51
9	千葉県	12	7	2	3	9	北海道	145	52	37	56
10	静岡県	12	3	4	5	10	静岡県	129	50	32	47
11	宮城県	11	5	4	2	11	京都府	101	35	25	41
12	群馬県	11	6	2	3	12	長野県	97	42	29	26
13	沖縄県	11	5	1	5	13	広島県	94	34	25	35
14	新潟県	10	5	2	3	14	宮城県	81	30	21	30
15	広島県	10	2	3	5	15	岐阜県	80	24	21	35
16	鹿児島県	10	6	1	3	16	岡山県	80	35	13	32
17	茨城県	9	6	3	0	17	茨城県	71	32	18	21
18	三重県	8	5	0	3	18	沖縄県	70	25	21	24
19	奈良県	8	3	1	4	19	三重県	67	20	12	35
20	岡山県	8	4	2	2	20	栃木県	64	28	13	23
21	愛媛県	8	2	3	3	21	群馬県	62	28	10	24
22	富山県	7	1	3	3	22	新潟県	61	20	13	28
23	京都府	7	0	3	4	23	滋賀県	61	26	13	22
24	和歌山県	7	4	0	3	24	愛媛県	55	19	15	21
25	山口県	7	4	1	2	25	山口県	48	20	5	23
26	熊本県	7	1	1	5	26	鹿児島県	47	22	13	12
27	岩手県	6	2	1	3	27	福島県	46	10	12	24
28	秋田県	6	3	1	2	28	大分県	45	20	7	18
29	福島県	6	1	3	2	29	宮崎県	43	16	8	19
30	栃木県	6	1	2	3	30	奈良県	40	19	4	17
31	石川県	6	0	2	4	31	徳島県	40	11	14	15
32	長野県	6	3	2	1	32	佐賀県	37	14	6	17
33	島根県	5	1	3	1	33	高知県	35	15	10	10
34	山形県	4	1	0	3	34	青森県	34	17	8	9
35	香川県	3	0	1	2	35	富山県	34	16	5	13
36	佐賀県	3	1	0	2	36	香川県	34	11	5	18
37	長崎県	3	2	1	0	37	熊本県	33	15	5	13
38	福井県	2	0	1	1	38	石川県	32	7	10	15
39	岐阜県	2	0	1	1	39	長崎県	31	7	5	19
40	高知県	2	0	1	1	40	山梨県	29	10	5	14
41	大分県	2	0	0	2	41	山形県	28	9	11	8
42	山梨県	1	0	0	1	42	和歌山県	28	10	4	14
43	滋賀県	1	1	0	0	43	鳥取県	28	12	7	9
44	徳島県	1	0	0	1	44	福井県	26	15	3	8
45	宮崎県	1	0	0	1	45	秋田県	20	7	5	8
46	青森県	0	0	0	0	46	島根県	20	3	5	12
47	鳥取県	0	0	0	0	47	岩手県	19	9	3	7

【注釈】前回レポートから更新された情報もあります

2025年の落ち込みから回復 開業数は3年間で最多に

2024年から2026年までの1～3月の理美容所開業数を比較すると、2025年に大きく減少した後、2026年は再び増加する動きが見られました。2026年は2025年同期を大幅に上回り、2024年同期と比較してもわずかに高い水準となっています。ここでは、その増加について紐解いていきます。

1. 2025年の減少から2026年は大きく増加

1～3月の理美容所開業数は、2024年が1,816件、2025年が1,254件、2026年が1,883件となりました。

2025年は2024年同期から約30.9%減少しましたが、**2026年は2025年同期から約50.2%増加**しています。さらに、**2024年同期との比較でも約3.7%上回り、過去3年間では最も多い件数**となりました。

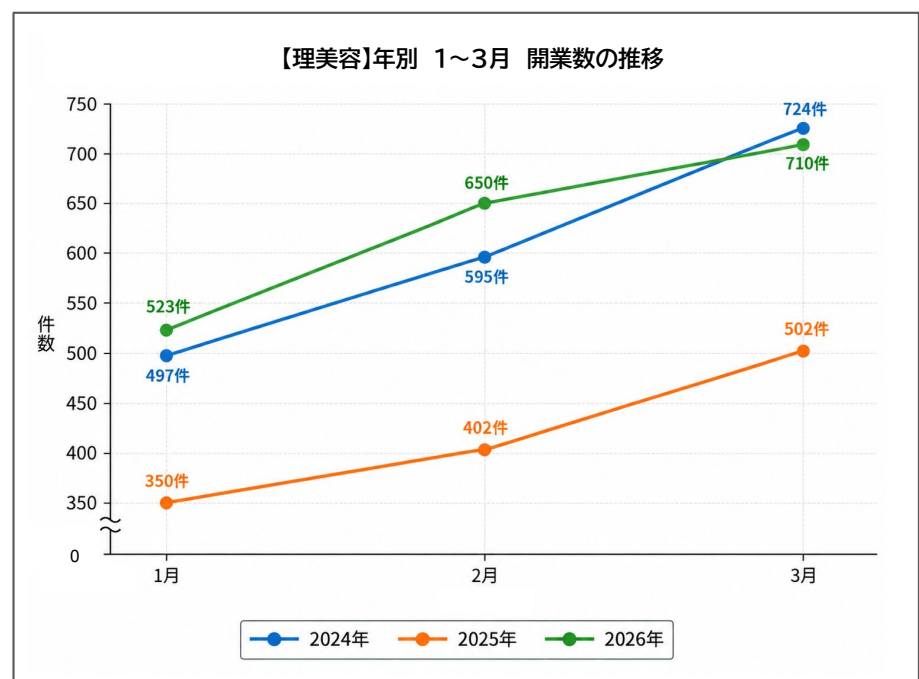
2026年1～3月は、前年の減少から大きく増加し、2024年同期とほぼ同水準まで戻る動きが見られます。

2. 2026年は1～3月すべてで前年を上回る

月別の開業数を見ると、2026年は1月から3月まですべての月で2025年を上回りました。

2024年との比較でも、1月と2月は2026年の方が多く、3月についても2024年の724件に対して710件と、近い水準となっています。

2026年の増加は特定の月に限られたものではなく、1～3月を通じて確認できる動きとなっています。



2025年の落ち込みから回復 開業数は3年間で最多に

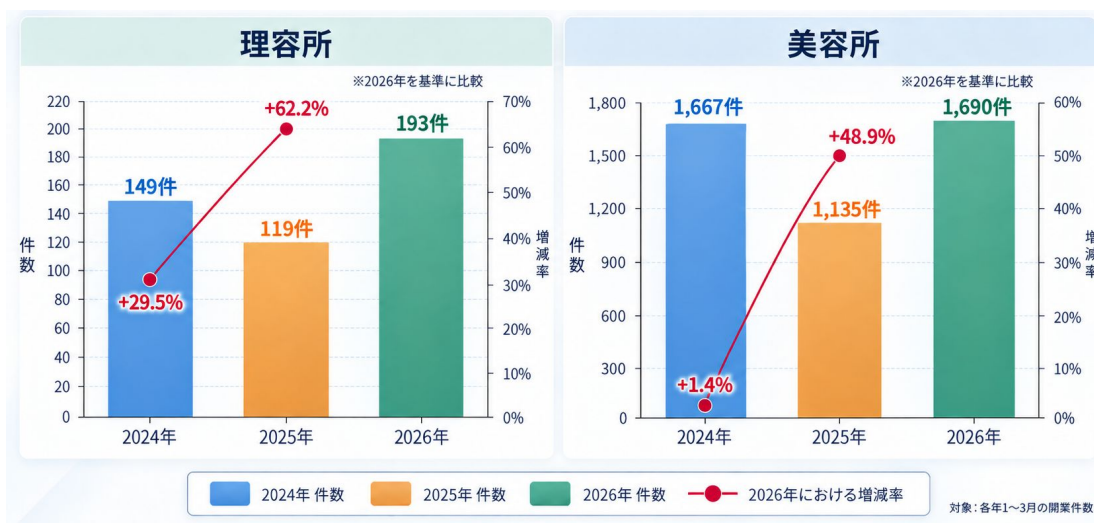
3. 理容所の伸びが目立つ

業態別に見ると、美容所の開業数は2024年1,667件、2025年1,135件、2026年1,690件となりました。一方、理容所は2024年149件、2025年119件、2026年193件となっています。

2026年は**2025年同期と比較して、美容所が約48.9%増、理容所が約62.2%増**となりました。**2024年との比較でも、美容所が約1.4%増であるのに対し、理容所は約29.5%増**となっています。

美容所が全体の約9割を占める構成に大きな変化は見られないものの、2026年は理容所でも比較的大きな増加が見られます。

【理・美容別】1～3月 年別開業数(棒)と2026年の伸び率(折れ線)



4. 上位10都道府県の顔ぶれは3年間変わらず

都道府県別の開業数を見ると、東京都、大阪府、愛知県、神奈川県、福岡県、兵庫県、埼玉県、北海道、千葉県、静岡県の**10都道府県は、2024年から2026年まで3年連続で上位10**に入っています。上位5都道府県だけを見ても、顔ぶれは3年間変わっていません。

一方で、上位グループ内では順位の入れ替わりも見られます。福岡県は2024年5位、2025年7位、2026年4位と推移するなど、年によって順位には一定の変化があります。

また、上位10都道府県が全国に占める割合は、2024年57.7%、2025年63.5%、2026年57.5%となりました。2025年は上位地域の割合がやや高まりましたが、2026年は2024年とほぼ同程度となっており、主要な開業地域の顔ぶれは比較的安定していることがうかがえます。

2026年1～3月の開業回復を読む

2026年1～3月の理美容所開業数は、前年から約50%増えました。最も有力なのは、2025年初めに落ち込んだ開業ペースが戻ったという見方です。働き方の変化や都市部の需要も背景として考えられますが、今回の増加への影響は確認できていません。ここでは、3つの仮説を立て確度の高い順に整理します。

仮説①

前年に落ち込んだ開業ペースが戻った

2025年に一時的に少なくなった開業が、2026年には2024年に近い水準へ戻った、という見方です。3年間の件数を並べると、2025年の落ち込みと、その後の回復が見えてきます。

比較期間	開業数	前年同期比
2024年1～3月	1,816件	—
2025年1～3月	1,254件	−30.9%
2026年1～3月	1,883件	+50.2%

2026年は前年から629件増えていますが、2024年を上回った件数は67件です。前年比では約50%増でも、2024年比では約4%増にとどまります。比較対象となる2025年の件数が少なかったことが、2026年の大きな伸び率につながっています。

月別でも同じ傾向が見られます。2026年は1月から3月まですべての月で前年を上回りましたが、2024年比では1月が約5.2%増、2月が約9.2%増、3月が約1.9%減です。四半期全体だけでなく、各月も2024年に近い水準へ戻っています。

この動きの背景として考えられるのが、開業準備にかかる時間です。店舗を開くには、物件の確保や内装工事に加え、資金調達やスタッフの採用など、複数の準備を進める必要があります。いずれかに時間がかかれば、開業の意思があっても、予定していた時期に店を開けない場合があります。

前回のレポートでも、資金調達環境の変化や人材不足が、開業の延期・見直しにつながった可能性を指摘しています。こうした準備の遅れなどが2025年初めの落ち込みに関わり、その後、開業が進めやすい状態へ戻ったという流れは、一つの説明として考えられます。[1]

ただし、2025年に延期された店舗が、実際に2026年に開業したかは確認できていません。**「開業時期の正常化」は、件数の動きに合う有力な仮説です。現時点では、2024年に近い開業ペースへ戻ったことを中心に捉えるのが妥当**と考えられます。

2026年1～3月の開業回復を読む

仮説②

働き方を見直し 小規模な独立を選んだ

勤務条件や自分の裁量を重視した理美容師が、一人・少人数のサロンを開いた可能性があります。業界の採用難や働き方の多様化は、この仮説を考える背景になります。[1][2]

独立すれば、営業時間や予約の受け方、提供するメニューなどを自分で決めやすくなります。経験を積んだ技術者が、自分に合った働き方を求めて小規模な店を持ち、その一部が新たな開業につながった、という流れが考えられます。

また、オーナー自身が施術を担う一人サロンなら、複数のスタッフを採用することを前提にせず開業できます。人材を集めにくい環境で、小さな規模から始める選択が増えた可能性もあります。一方で、スタッフが必要な店舗では、採用難が開業を遅らせる要因にもなり得ます。

ただし、今回の開業のうち、小規模な独立が何件増えたかは不明です。既存サロンの席を借りて独立する場合は、新たな店舗の開業につながらないこともあります。働き方の変化が開業を後押しした可能性はありますが、全国の回復をどの程度説明できるかは、まだ判断できません。

仮説③

都市部の集客を見込み 出店を決めた

都市への人口流入や観光客の来店を見込み、一部地域で出店が進んだ可能性があります。2025年の人口移動では、東京圏・大阪圏はいずれも転入超過となりました。商圏内に住む人や訪れる人が増えるという期待が、出店判断を支えたことは考えられます。[3]

ただし、2026年1～3月の理美容サービス支出は前年を下回っています。実際に顧客需要が増えて出店につながった程度も確認できないため、この仮説は一部地域の背景として扱うのが適切です。全国の開業増を説明する根拠としては、限定的と考えられます。[4]

※確度は、今回のデータと参考資料にどの程度合うかを示す相対的な評価です。原因が確認されたことを意味するものではありません。

出典と参考資料

[1] Review 理美容レポートver7公表資料

(https://re-view.jp/v2/wp-content/uploads/marketingreport_beauty7.pdf)

[2] 厚生労働省「理容業 美容業に関する関連データ」

[3] 総務省統計局「人口移動報告2025年」結果

[4] 株式会社リクルート「ホットペッパービューティーアカデミー 美容消費係数2026年1～3月」

【コラム】いま男性がバーバーに通う理由

髪型が決まるうれしさに、顔剃りの心地よさや、落ち着いた空間で過ごす楽しみが加わる。技術や店づくりにこだわるバーバーは、そんな時間を男性たちに提案しています。理容室に通う楽しみは、どのようなところにあるのでしょうか。調査データと出店ニュースから、バーバーが選ばれる理由を見ていきます。

髪型とともに楽しむ 店の世界観

短く刈り上げた部分から、長さを少しずつ変えてつなぐフェードスタイル。パナソニックは2025年7月、この髪型の人気が定着し、バーバーの影響力や発信力が高まっていると説明しました。同社が専用の商品開発を強める動きからも、理容の技術をファッションとして楽しむ需要への期待がうかがえます。[1]

店そのものの個性を打ち出す例もあります。「MR.BROTHERS CUT CLUB」は、2025年1月にシンガポール店を開業し、国内外で9店舗となったと発表。内装やアートにもこだわりを見せています。髪型だけでなく、店の世界観に共感して通う。そんなバーバーの楽しみ方を伝える事例です。[2]

ケアと居心地にも お金をかける理由がある

その魅力を数字で捉えたのが、リクルートの2022年の調査です。技術に加えて内外装やカルチャー発信などの付加価値を持つ理容室を「バーバー」と定義し、男性の美容室利用者と比較。バーバー利用者は、1回の利用金額や眉カット、トリートメント利用率、満足度が高い結果となりました。

バーバーと美容室の男性利用者比較（2022年）

指標	バーバー	美容室
1回あたりの利用金額	5,244円	4,678円
眉カット利用率(過去1年間)	35.6%	11.7%
トリートメント利用率(過去1年間)	23.5%	7.8%
とても満足している割合	45.6%	33.4%

出典:株式会社リクルート ホットペッパービューティーアカデミー[3]。東名阪の20~49歳男性が対象。金額は各サロンの主な利用者、その他は各サロン利用者の集計です。理容室全体の平均や、2026年の状況を示すものではありません。

ケアや心地よさを楽しむためにお金をかける顧客層がいることがうかがえます。カットの仕上がりに加え、そこで受けられるサービスも、店を選ぶ理由になっているようです。

【コラム】いま男性がバーバーに通う理由

上質な時間を提案するバーバーが各地へ

こうした価値を前面に出す店舗の告知は、2026年初めにも見られます。「ヒロ銀座」は、名古屋・京都・広島で、空間やケアの充実を打ち出した出店を告知しています。[4][5][6]

「ヒロ銀座」の出店告知に見るサービスと空間の工夫

店舗	公表時の開業案内	打ち出している特徴
栄店 名古屋市	2026年2月17日に 開業を告知	ホテルラウンジを意識した内装 ヘッドスパやフェイシャルなど
京都本店 京都市	2026年3月の 開業を予告	個室空間と髪質等に応じたカット フェイシャルやリラクゼーション
広島本店 広島市	2026年3月中旬の 開業を予告	落ち着いた内装 精密なカット、丁寧に優雅なシェービング

出典:ヒロ銀座公式発表[4～6]をもとに作成。告知時点の内容であり、実際の来店客数や業績を示すものではありません。

髪を整える時間に、休息や身だしなみのケアを重ねる提案です。男性向けの技術とくつろげる空間を組み合わせることが、店の個性を伝える方法になっていると考えられます。

20代の利用増にも見える 理容室との新しい接点

対象期間後に公表された調査にも、目を向けてみましょう。リクルートの2026年上期調査を紹介した同年8月の解説では、年代別で唯一、20代男性の理容室利用率は33.9%で前年より2.6ポイント上昇しています。一方、男性全体では42.0%と、2.2ポイント低下しました。若い世代と全体とで、異なる動きが見られます。[7]

この調査は高付加価値型に限らない理容室全般が対象です。また、利用金額の上昇には物価高による価格改定の影響も指摘されています。若年層の利用増や単価上昇を、そのまま高級バーバー人気と結びつけることはできません。[7]

通いたくなる理由をつくる 理容室の工夫

デザイン性のあるカット、丁寧なケア、好みの空間。調査や出店事例からは、こうした魅力に価値を感じる顧客と、それに応えようとする店の姿が見えてきます。業界全体が高級化したと捉えるより、理容室を選ぶ理由の多様さに注目したいところです。

出典と参考資料
[1] パナソニック 新シリーズ THE BARIKAN 発表 2025年7月14日
[2] MR.BROTHERS CUT CLUB シンガポール店開業発表 2025年1月28日
[3] 株式会社リクルート ホットベッツバービューティアカデミー バーバー利用調査 2022年5月31日
[4] ヒロ銀座 栄店開業告知 2026年2月17日
[5] ヒロ銀座 京都本店開業告知 2026年2月1日
[6] ヒロ銀座 広島本店開業告知 2026年2月1日
[7] 株式会社リクルート ホットベッツバービューティアカデミー 理容室市場の解説 2026年8月28日

全国理美容開業ランキング レポート ver8 まとめ

開業数は前年比約50%増 業界に見られた回復の動き

今回のレポートでは、2026年1～3月の開業動向を、過去2年の同じ時期と比較しました。全国では2025年の落ち込みから回復し、主要都市圏を中心とした開業が続く一方、理容所と美容所では増加の幅に違いが見られました。業界の変化も踏まえ、今回の回復の特徴を振り返ります。

前年からの大幅増 過去3年間の流れで捉える

全国の開業数は1,883件となり、前年同期から約50.2%増加しました。一方、2024年同期との比較では約3.7%増にとどまっています。月別でも1～3月のすべてで前年を上回り、2024年に近い水準となりました。

今回の動きは、2025年初めに落ち込んだ開業ペースが戻ったと捉えるのが、現時点では最も有力な見方です。資金調達や人材確保、働き方の変化も背景として考えられますが、それぞれが開業増に与えた影響までは確認できていません。

約9割を占める美容所 理容所は伸びが目立つ

業態別では、美容所が1,690件、理容所が193件となり、美容所が引き続き全体の約9割を占めています。2024年比では美容所が約1.4%増、理容所が約29.5%増となりました。全体の回復を捉える際には、理容所で2024年を上回る増加が見られた点にも注目する必要があるでしょう。

主要な開業地域は安定 店の価値にも注目

地域別では、東京都・大阪府・愛知県・福岡県・神奈川県の上位5都府県が全国の約40.2%を占めました。上位10都道府県の顔ぶれも3年間共通しており、主要な開業地域の構成は比較的安定しています。

このように、2026年1～3月は、前年の落ち込みから開業数が回復し、業態ごとの伸び方にも違いが見られました。全体の増減に加え、地域・業態別の特徴を併せて捉えることが、開業市場の現在地を読み解く手がかりとなるでしょう。

顧客に選ばれる店づくりと働き方

美容室の利用頻度が低下する動きも見られる中で、顧客との関係を丁寧に育てることは、今後さらに大切になるでしょう。似合うスタイルの提案、髪や頭皮の悩みに応えるケア、心地よく過ごせる空間など、店ごとの強みを伝える工夫が、来店を続ける理由につながると考えられます。

自分たちに合う規模と働き方で 挑戦を続ける

一人・少人数での開業やシェアサロンの活用など、経営や独立の選択肢は今後も多様化していくと考えられます。地域の需要や人材の状況、自分たちの強みに合わせて店舗規模や運営方法を選ぶことが、新たな挑戦を支える可能性があります。

業界に関わる皆さまと 新たな可能性を育てる

サロン経営者や技術者に加え、メーカー・ディーラー、物件や開業を支援する事業者など、業界に関わる皆さまにも果たせる役割があります。技術や商品の提案、商圈に合う開業支援、運営を続けるためのサポートを通じて、一店一店の強みを育て、新たな挑戦を後押ししていけると考えられます。

理美容は、人々の身だしなみを整え、日々の心地よさを支える身近なサービスです。顧客の小さな変化に気づき、信頼を積み重ねる日々の仕事は、これからの理美容業界の可能性を広げていくと期待されます。

本レポートが、皆さまの次の開業や経営戦略を考える手がかりとなれば幸いです。Reviewはこれからも全国の開業動向を分析・発信し、データを通じて業界の皆さまの意思決定を支えてまいります。

【データ・レポートに関するお問い合わせ】

株式会社Review(リビュー) 広報
担当:五味川
E-mail:gomikawa@re-view.co.jp
<https://re-view.jp/>